



P2 ~ P12 活動紹介 掲載例

1段目：高校名

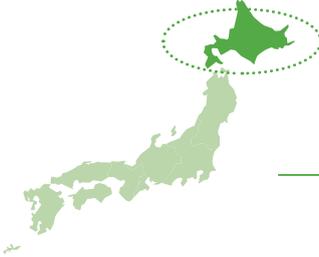
2段目：団体名

3段目：活動名

本文(活動内容)

イメージ写真

※地区別の都道府県は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別で区分しています。



北海道

10 団体

北海道標茶高等学校

インタープリターズ班

届け！道東の魅力！～人と自然をつなぐために～

地域の自然環境の魅力を発信する活動をしています！夏はくしろ湿原ノロッコ号の川湯温泉延長運転での車内アナウンスと車内販売、冬は鶴居村でタンチョウガイドを行います。また、標茶町の住民の方に向けて高校敷地内の湿原を案内する自然ガイドを実施しています。



北海道美幌高等学校

環境改善班

オホーツクの自然を守れ！～オホーツクから世界へ繋ぐ環境改善～

10年間にわたりウチダザリガニ駆除、在来種保護活動をしてきました。今年から新たな活動として、河川の護岸工事による落差工の影響で遡上できなくなったサケを保護するため、ポータブル魚道を設置し、サケの遡上を助けることで河川や森林環境の保護も実現しました。



北海道士幌高等学校

環境班

持続可能な地域環境を目指して～防風林に対する農家の経営意識改善を～

士幌町がある十勝地域は、日高おろしと呼ばれる突風が発生します。この被害を軽減しているのが防風林。しかし、衛星電波の障害になるため防風林が伐採され減少しています。この課題を解決するためにハザードマップ作成や防風林調査、普及活動を実施しています。



北海道大野農業高等学校

果樹専攻班

持続可能な果樹生産を目指して～私たちにできる脱炭素～

二酸化炭素削減に取り組むことが重要と考え、果樹管理で大量に産出される剪定枝を用いたバイオ炭の製造試験に取り組みました。チップ化した剪定枝ともみ殻によるバイオ炭製造の比較試験を行いました。また、本校で生産した余剰ブドウによるワイン生産にも取り組んでいます。



北海道大野農業高等学校

畑作班

サツマイモ栽培プロジェクト

持続可能な農業の実現を目指したサツマイモ栽培に挑戦中です。主な活動として、北斗市の特産物であるホッキ貝の残渣を有効活用するため廃棄予定の貝殻を受け取り、有機石灰肥料として施肥することができました。また、環境センサー付カメラの活用も研究しています。



北海道羽幌高等学校

羽幌高校チーム

羽幌町に飛来する海鳥について

SBF(シーバードフレンドリー)と協力し、海岸清掃やプラスチック調査など海鳥の保護活動、河川調査を通して地球温暖化を抑制する取り組みも行っています。生物多様性高校生チャレンジシップへの出場、ジャパンバードフェスティバルでの海鳥の啓発活動なども行っています。



北海道岩見沢農業高等学校

自然エネルギー班

地域の未利用資源を活用した北海道周年栽培モデルの確立～北の雪からプロジェクト～

精米の過程で排出されるもみがらは処理方法が課題。冬場の道産野菜確保や新たな北海道ブランドの創出を目的に、高温対策としての「雪」利用と冬の暖房燃料を含む「もみガラ」の循環利用など、再生可能エネルギーを活用した革新的・持続的な農業形態を実現します！



北海道北見北斗高等学校

サイエンスクラブ

～地域に根差した環境活動で北見をより住みよい街へ～サイエンスクラブ

年4回、20年にわたって常呂川の水質調査を行い、そのデータを使って常呂川の水質に関する研究発表を続けています。また子供たちが学べるピオトープづくりを目指して市内の公園にある富栄養化したピオトープを地域の方々と原因の解明、環境整備を進めています。



市立札幌開成中等教育学校

世界を救うコンクリートチーム

ホッキガイを用いたコンクリートの作成及び利用方法

海は二酸化炭素を吸収するが、その蓄積量は増加し海洋酸性化が進んでいる。海洋酸性化が進むと、地球温暖化の加速や生態系に影響が及ぶ。私たちは、廃棄されるホッキガイから水酸化カルシウムを生成し、環境負荷に配慮したコンクリートの作成の研究を行った。



北海道函館水産高等学校

海洋技術科 3年課題研究 2班

マガキの種苗生産技術の検討

他地域に依存しない函館湾産マガキの養殖に取り組みました。結果は①天然採苗の結果、予測した日より早くマガキは成熟・産卵していた。②人工採苗に成功しマガキ稚貝の生産が行えた。今後は、カキ養殖の漁師さんに育ててもらい評価をいただくことに取り組みます。

